



Answer

親子の距離が遠くなったような小5の娘
母親が仕事で寂しい思いをさせたから？

Question
1

小学5年の娘は、私が仕事から帰ると飛びついて、よく話をしてくれましたが、最近では友達とばかり行動し親子の間に距離があるような、

子供が離れていくような不安を感じます。出張で祖父母に預けたりして、寂しい思いをさせたからでしょうか。
(30代後半・母)

■親は大きな心で

子供に寂しい思いをさせてきたと思うなら、すき間を埋める努力も必要ですが、10〜12歳は大人への入口に立っていることを心に留めておきたいもの。

子供はまだ自分の気持ちを言語化するのに長けていません。未熟ですから、母親が衝撃を受けられるような言葉づかいもします。けれども同じ次元で丁々発止にならないようにし、大きな心で受け止めた方がいいのです。

よく見るテレビ番組や好きな音楽に、子供を理解する手掛かりがあるかもしれません。手は離しても目はかけて、時には頑張っているところを認めてあげると、親が応援してくれていると感じるでしょう。

高学年になって親によそよそしくなった娘さんに不安を感じることですが、大人への入口にきている、お子さんの成長の証ではないでしょうか。

■大人への入口

他愛ない言動をしていた子供が、急に無口になったり、口答えを始めたたりすると親は戸惑ってしまいます。ふだん仕事で家を空けたりしていると、子供は寂しくて反発しているのかと親は感じたりするのでしょうか。

小学5年生にもなると女子は思春期に入る頃で、情緒も豊かになり、人の心を慮るようにな

ります。低学年だと、友達のお母さんが病気で入院しても共感まではしませんが、高学年になると友達の気持ちになって心配します。

よくも悪くも人の心を予測できるようになり、人からどう思われているか悩んだり、客観的に見られるようになって、人と比較して自信を失ったりすることもあります。

幼いうちの時間観念は、昨日や今日、明日ぐらいだったのが、もっと長い目で考えられるようになるので、将来への不安が芽生えてきたりするのもこの時期です。